

高木顕明と 平和の念仏Ⅱ

ブレニオンフレドリック

顕明師が私達の未来
へ遺してくれたもの
先月号の続き

日本では（中略）法然でも親鸞でも（中略）蓮如でも尤も平民に同情厚き人々である。殊ニ余は親鸞が御同朋御同行と云ふたの（中略）より考へ来ると、彼れは実ニ平民ニ同情厚き耳（のみ）ならず、確ニ心霊界の平等生活を成したる社会主義者である―と考へて居る。余は此等の点より仏教は平民の母にして貴族の敵なりと云ふたのである。（中略）

余は極楽を社会主義の実践場裡（じょうり）であるかと考へて居る。（中略）故ニ極楽と云ふ。真ニ極楽土とは社会主義が実行せられてある。極楽世界には他方之国土を侵害したと云ふ事も聞かねば、義の為ニ大戦争を起したと云ふ事も一切聞かれた事はない。依て余は非開戦論者である。戦争は極楽の分人の成す事ではないと思ふて居る。（中略）

此の光明を見付けた者は真ニ平和と幸福とを得たのである。厭世的の煩悶を去りて楽天的の境界ニ到達したのである―と考へる。さながら思想は一変せざるべからずだ。御仏の成さしめ給ふ事を成し御仏の行ぜしめ給ふ事を行じ御仏の心を以て心とせん。如来のしろしめむ如く身を持すべしである。大決心は此時である。（中略）

上の思想の回転が御仏の博愛ニ深く感じたるものなれば如来の慈悲心を体認せねばならん。此を実践せねばならん。（中略）此の闇黒の世界に立ちて救ひの光明と平和と幸福を伝道するは我々の大任務を果すのである。諸君よ願くは我等と共に此の南無阿弥陀仏を唱へ給ひ。今且らく戦勝を弄び万歳を叫ぶ事を止めよ。何となれば此の南無阿弥陀仏は平等に救済し給ふ声なればなり。諸君よ願くは我等と共に此

行事予定

七月

三十日 お盆祭り
三十一日 お盆・初盆法要
お盆祭り

八月

七日 祥月法要
十四日 日曜礼拝
二十一日 日曜礼拝
二十七日 世界同朋大会
二十八日 世界同朋大会
二十九日 日曜礼拝休み

九月

四日 レーバーデーのため日曜礼拝休み
十一日 祥月法要
十八日 秋季彼岸法要
十八日 秋季セミナー

第五七回

お盆まつり

七月三十日／三十一日

午後一時～九時

別院ニュース

第五七回お盆祭り

今年もお盆祭りがやってきました！かき氷、フアーマーズマーケツト、苗木の販売、煎茶会、ゲーム、数々のエンターテイメントそして盆踊りが皆様を楽しませる事間違いなし。ビンゴもお忘れなく。七月三十日、三十一日、お待ち申し上げております。

お盆祭りギフト券

友人やご家族への贈り物として一枚五ドルのギフト券はいかがでしょう。か。土曜、日曜のお盆祭りブースの食事を購入するのにとっても便利です。寺務所にて販売中。郵送ご希望の方は七月二十四日までにお支払いをお願いします。

盆踊り駐車場

お盆まつりにお車で越しの方は別院斜め向

かに位置する Medical Building (420 E. 3rd St., Los Angeles, CA 90013) の駐車場を五ドルでご利用いただけます。ラッフル売り場に駐車券をご提示ください。駐車割引券とラッフルチケット一枚(三ドル相当)を無料でお渡しいたします。なお、駐車場入り口は BOYD St になります。駐車場の時間は土日とも午前十時から午後十時までとなっております。

盆踊り駐車場

今年も様々な賞品をそろえて皆さまをお待ちしています。ご家族やお友だちといっしょにぜひご参加ください。上位賞品の当選者で、抽選会当日にお越しでない方には、後日お寺よりご連絡いたします。ラッフルチケットは一枚三ドル、五枚一組で十五ドルとなつております。チェックとラッフルチケットの半券をお

寺にご返送ください。またチケットはお盆祭り当日まで寺務所で販売をしております。ご協力をよろしく願います。

- 一等賞ー現金千ドル
- 二等賞ーデイズニールンド・パークホッパリー・チケット四枚
- 三等賞ー現金五百ドル
- 四等賞ーアップルウォッチ
- 五等賞ー Apple iPad Mini
- 六等賞ードジャーズチケット2枚

特賞ー \$500 の旅行券 (ニュージャパントラベル)

その他各種賞品あり

万燈会提灯

万灯会提灯のご注文を開始しました。提灯一つにつき二十ドルです。注文用紙が必要な方は寺務所にございます。提灯の数に限りがございます

のでなるべくお早めに寺務所にご連絡を下さいませ。なお、お盆祭りの後に提灯をお持ち帰りになりたい場合はあらかじめ寺務所にご連絡をお願いいたします。ご連絡いただきました提灯につきましては、お盆祭り終了後から寺務所にて九月一日まで保管させていただきます。

八月の日曜礼拝

別院では他の月同様に八月も毎週日曜日に日曜礼拝をお勤めいたします。祥月法要は八月七日です。皆さまのお参りをお待ちしております。なお、ダルマスクールは九月から再開されます。

ルンビニ保育園

日中の日差しが暑く感じられるようになり、お盆の季節となりました。今年も hereandnow の指導によるルンビニの園児のステージをきつと楽しんでいただけることと

おどり会

夏一番の晴れ舞台。お盆まつりに向けて生徒たちは練習を重ねています。新しいおどりを覚えたり、すでに習ったおどりに磨きをかけてたりと練習に余念がありません。特に今回が初舞台になる小さな子供たちの張り切りようは、見ていて微笑ましいかぎりです。お盆では観客席に子供たちを普段からよく知る人たちがたくさん駆けつけてくれます。アットホームな雰囲気の中で、きつと日頃の成果を存分に発揮してくれることでしょう。七月三十日(土)の舞台をどうぞお楽しみに。

八月十四日(日)にはおどりの会の発表会、 Matsuri Recital もあります。

みち

(高木顕明
1ページからの続き)

社会主義である。終りに臨んで或人が開戦論の証文の様二引証して居る親鸞聖人の手紙之文を抜出して、此の書が開戦を意味せるか、平和の福音なるかは宜しく読者諸君の御指揮を仰ぐ事とせん。「詮じ候処ろ御身に限らず念仏申さん人々は我が御身の料は思召さずとも朝家の御為め国民の為め念仏申し合せ給ひ候はゞ目出度候べし往生を不定に思召さん人は先づ我往生を思召して御念仏候べし我が御身の往生一定と思召さん人人は仏の御恩を申し召さん人に御報恩の為に御念仏心に入れて申して世の中安穏なれ仏法弘まれと思召すべしとぞ覚え候。」(中略)

如上の文は平和の福音なるを人誤てラッパの攻め声と聞きたるか。或は陣鐘陣太鼓の声なるを予が誤りて平和の教示なり

と聞きたるか。読者諸君の御裁決に任すとせん。しかし余は幸なりラッパも陣鐘も平和の福音と聞けばなり。多謝／＼南無阿彌陀佛。

この文の至る所で、絶対平等と完全に差別なき原理が繰り返し強く主張されているのが分かります。これこそが本願成就、つまり全ての真宗門徒が念仏を称えつつ、証していかねばならないことなのです。本願に救われんと願いと、あらゆる人々を御同朋御同行として迎え入れんとする願いに他なりません。これは顕明師が示して下さった、大胆かつ先見性のある見識です。この先見性は師が本山から受け取ったものの中では最高のものでした。師はこの先見を蓮如や親鸞、三部経や釈迦牟尼から受け取ったのです。覚りが無量の慈悲と智慧となり、あらゆる障壁を超えてはたらくいていく。師は先見性を

その覚りから受け取ったのです。あらゆる存在から迎え入れられるということ、あらゆる存在を歓迎し、これが私達の未来です。これが私達の未来であり、今の私達を待ち受け、呼び掛けているのです。顕明師は多大な犠牲を払い、その道を示されました。しかし、二河白道のように、私達が阿彌陀として象徴される目標を見定め、高木顕明師を始めとする先師を通して届けられる仏法に深く耳を傾けている限り、その道を歩むことができるのです。

御同朋御同行と共に真宗の道を歩むことは、全ての人が受け入れられ、誰も排除されることのない未来へと歩んでいくことなのです。どうして私達の中にある差別心を許容することができるのでしょうか? どうして争いを起こさずという気持ちを持てるのでしょうか? これは高木顕



ご命日法要

(毎月最終水曜日)
毎月月末の水曜日午後一時より親鸞聖人御命日法要がございます。どなた様もお気軽に参加下さい。

同朋のお悔み

菊永サヨ様
六月三日御命終
(86)
謹んで哀悼の意を表します。

明師から私達へ向けられた課題であり、師の望んでいた未来からの課題なのです。この未来とは、私達の言うところの浄土なのです。
南無阿彌陀仏

